



綱渡りの男

モーディカイ・ガースティン 作
川本三郎 訳
小峰書店 2005年

今は世界貿易センターのツインタワー、地上400mで綱渡りをしたフランス人綱渡り師フィリップ・プロティの実話をもとにした絵本。

絵本



ひとりあそびの教科書

宇野常寛
河出書房新社 2023年

ランニング、虫採り、旅、ゲーム…。「ひとり」で「あそぶ」からこそ見えてくるもの、触れられるものは、たくさんある。

人気評論家が中学生に向け、あそびに夢中になれば、自分の世界はずっと深く楽しくなることを伝える。

読み物



自己肯定感は高くないとダメなのがダメ

榎本博明
筑摩書房 2025年

自己肯定感は、何とか納得のいく生き方をしたい、と心の中で格闘しながら生きていくことで、自然に高まるものではないか。自己肯定感について考え、若者が成長するために大切にすべきことを伝える。

新書



行田市立図書館
(行田市教育文化センター「みらい」・図書館棟)

〒361-0032 行田市佐間3-24-7

TEL 048-556-4227

FAX 048-555-3770



行田市立図書館のおすすめ本 YA向けブックリスト

令和8年1月発行

YAとはアメリカで13歳から19歳までの世代の人たちに対して使われている言葉で「若いおとな」という意味です。
YA世代の人たちにおすすめしたい本を

図書館職員が選びました。

ここに載っている本は、すべて図書館に所蔵しています。
何を読んだらいいのか迷ったときはぜひ参考にしてください。

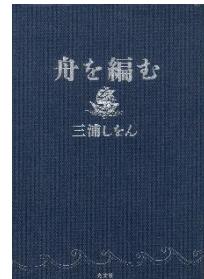


小説

パンツ・プロジェクト

キャット・クラーク
三辺律子 訳
あすなろ書房 2017年

リヴは中学1年生。外見は女の子でも、自分は男の子だと思っている。違和感を探るうちに「トランスジェンダー」という言葉に行き当たったリヴは、「女子はスカートをはく」という校則と闘うこと…。さわやかな青春小説。

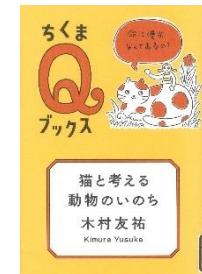


小説

舟を編む

三浦しとん
光文社 2011年

辞書編集部に異動した馬締は「大渡海」の編纂を始める。個性的すぎる仲間たち、問題山積みの編集部、ままならぬ恋…。愛すべき変人たちが恋に仕事に左往右往。「大渡海」は編み上がるのか?



読み物

猫と考える動物のいのち
命に優劣なんてあるの?

木村友祐
筑摩書房 2024年

動物も人も幸せに生きたい。そのために何をしたらいいか、猫たちと一緒に考えよう。小説家・木村友祐が、身近な生き物、擬人化された動物、人間が利用することに特化された畜産など、人間を取りまく動物たちについて考える。



エッセイ

あなたの言葉を

遠村深月
毎日新聞出版 2024年

あの時、のみこんだひと言。いま感じている気持ち。その言葉はいつか必ず、あなたを助けてくれる。作家・遠村深月が自らの体験を元にまっすぐに語りかけるエッセイ集。『毎日小学生新聞』連載を単行本化。



読み物

なぜ僕らは働くのか
君が幸せになるために
考えてほしい大切なこと

池上彰 監修
Gakken 2020年

仕事ってなんだ? どうやって働く? 働くことの意味、生活にかかるお金、勉強することの意味、やりたいことの見つけ方などを、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。

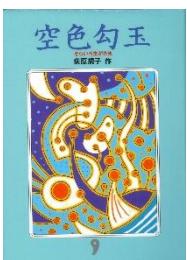


絵本

ぼくはくまのままで
いたかったのに……

イエルク・シュタイナー 文
イエルク・ミュラー 絵
大島かおり 訳
ほるぷ出版 2024年

くまが冬眠からめをさますと、森は消え、工場が建っていた。おまけにくまは「労働者」として働かされることになり…。人間の身勝手さによって変貌していく自然と、そこで生きる一匹のくまの姿を風刺をこめて描いた名作を復刊。

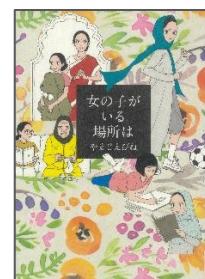


小説

空色勾玉

萩原規子 作
徳間書店 1996年

神々が地上を歩いていた古代の日本、「豊葦原」の光と闇がせめぎあう戦乱の世を舞台に「水の乙女」と「風の若子」の冒険と成長、運命の恋を描く。「勾玉」3部作第1巻。



まんが

女の子がいる場所は

やまじえびね
KADOKAWA 2022年

世界の10歳の少女たちの日常を描く短編集。文化や習慣の違いで「女の子だから」と制限される中でも、自分の未来を探していく物語。



まんが

火の鳥 1
手塚治虫漫画全集 201

手塚治虫
講談社 1978年

時間と時空を超えた存在、火の鳥。不死身の鳥をめぐって壮大な宇宙ロマンが展開する手塚漫画の代表傑作。過去から未来まで、時代を越えて人間の生き方を問いかけます。